いわて復興だより

がんばろう！岩手　つながろう！岩手

三陸復興

第 106 号
平成 28 年 6 月 1 日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にしていきたいと思います。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

2016 希望郷 いわて国体まで 122 日　2016 希望郷 いわて大会まで 143 日

「いわて内陸避難者支援センター」開所　盛岡市

平成 28 年 5 月 20 日（金）、岩手県は、東日本大震災津波で内陸や県外に避難している被災者の住宅再建をサポートするため、「いわて内陸避難者支援センター」を盛岡市材木町に開所しました。

同センターは、内陸の「みなし仮設住宅」や県外に避難している被災者の今後の住まいの意向を戸別訪問や電話で把握し、再建方法を決めかねている人の相談に応じることで、住宅の再建をさらに促進しようと設置されたものです。

同センターには、精神保健福祉士や社会福祉士、消費生活専門相談員などの資格を持ったスタッフ 7 人が常駐。電話や戸別訪問での相談に対応するほか、住宅再建に向けた各種制度の紹介や物件探しなどのサポートを行います。

開所式では、木村卓也県復興局長が「沿岸の自治体に代わって被災者の意向調査を行い、一刻も早く被災者の住宅の再建が進むよう取り組んでいきたい。」と挨拶しました。

平成 28 年 4 月末現在、内陸や県外への避難者は 4,728 人で、「みなし仮設住宅」には 1,409 人が入居しています。

今後、内陸や県外避難者の住宅の再建を後押しし、避難者に寄り添った支援を行うことが期待されています。

■住所：盛岡市材木町 3-5
■相談受付：午前 9 時から午後 5 時
（日・祝日、年末年始を除く）
■お問い合わせ：☎ 019-601-7640

開所した「いわて内陸避難者支援センター」

センター内の資料閲覧スペース

100 円で何買う？何食べる？「百縁笑店街」開催　大船渡市

平成 28 年 4 月 30 日（土）、大船渡市大船渡町の仮設商店街「おおふなと夢商店街」で「百縁笑店街」が開催され、にぎわいをみせました。

「百縁笑店街」は、「おおふなと夢商店街」の各店舗が来場者に 100 円（百縁）で商品を提供するイベントで、今回で 5 回目を迎えました。

当日は、各店舗が水産物や菓子、日用品や食品などを 100 円で提供。タイムサービスでは、限定商品として 2 枚入りの活きホタテやいちごのパックも 100 円で販売されました。

「おおふなと夢商店街」としての営業は本年度末で終了する予定ですが、8 月には子どもたちが参加できるイベントなど、地域を盛り上げる取り組みが計画されています。

家族連れでにぎわう店舗（写真提供：おおふなと夢商店街）

広げよう 感動。伝えよう 感謝。　2016 希望郷 いわて国体　2016 希望郷 いわて大会

公開競技 ▶ グラウンド・ゴルフ　期間 ▶ 平成 28 年 9 月 24 日（土）・25 日（日）会場 ▶盛川河川敷公園
デモンストレーションスポーツ ▶ マラソン：8 月 7 日（日）／ウォーキング：10 月 2 日（日）
お問い合わせ ☎ 0192-27-3111（大船渡市）

● 大船渡市 INFORMATION >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>

岩手県沿岸南部に位置する人口約 38,000 人のまちです。世界三大漁場のひとつである三陸漁場を活かした水産業が主な産業で、サンマやサバ、イカ、サケなどが豊富に水揚げされるほか、地形特有の静穏な湾を利用したカキやホタテ、ワカメ、ホヤなどの養殖も盛んに行われています。また、市内には国の名勝に指定された碁石海岸があります。特に海水の浸食により岩に 3 つに巨穴が空いた「穴通磯」は絶景です。

蓬莱島「遷座祭」を開催 「ひょうたん島まつり」が復活

大槌町

平成 28 年 4 月 29 日（金・祝）、故・井上ひさしさん作の人形劇「ひょっこりひょうたん島」のモデルとされる蓬莱島（大槌町赤浜沖）にある 御社の修復が完了し、弁財天像を戻す遷座式（せんざしき）が開催され、震災後途絶えていた「ひょうたん島まつり（主催：実行委員会）」が 6 年ぶりに復活しました。

蓬莱島の弁天神社の鳥居や社殿は東日本大震災津波で倒壊しましたが、海の守り神として祭られた弁財天像の流失は免れ、地元住民でつくる「ひょうたん島復興プロジェクト」が 像の修復や神社再建を進めてきました。

当日は、弁財天像を赤浜八幡神社から赤浜漁港周辺のまつり会場に運び、虎舞や鹿子踊、神楽などの奉納舞が披露されました。

また、同時開催された「ひょうたん島まつり」では、カキ早むき大会、塩蔵ワカメ早詰め大会などが行われ、蓬莱島の復活を祝いました。

弁財天像の遷座式の様子（写真提供：大槌町）

「ホタワカ御膳」1,000 食達成 !!

陸前高田市

平成 28 年 3 月 26 日（土）から市内 4 店舗で提供を開始した「陸前高田ホタテとワカメの炙りしゃぶしゃぶ御膳（愛称：ホタワカ御膳）」は、“食”を観光資源と位置づけ、交流人口の増加などを目的に開発された岩手県初の新・OMOTENASHI ご当地グルメです。

広田湾産の活ホタテ 4 枚を使い、「刺身＆昆布〆」、「炙り」、「かき揚げ」の 3 種に調理された「ホタテ 3 段タワー」、地元でおなじみの「ワカメのしゃぶしゃぶ」、陸前高田市のブランド米「たかたのゆめ」に加え、各店がこだわったデザートが、地元「気仙杉」の盆に載せられ、陸前高田市の魅力を凝縮するよう工夫されています。

同年 5 月 10 日（火）には、提供数 1,000 食を達成。“奇跡の一本松”と並ぶ、陸前高田市の新しい観光の目玉として注目されています。

“カフェフードバーわいわい”で提供される「ホタワカ御膳」

提供店舗など、詳しくは ホタワカ御膳 検索

未来のさんりくびと

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。第 56 回目は、宇都宮 聖花さんを紹介します。

三陸鉄道株式会社
北リアス線運行部 運転士候補生
宇都宮 聖花
（うつのみや せいか）さん

<<< PROFILE >>>

宮古市出身。
鉄道に関係する仕事がしたく、高校卒業後、関東の私鉄会社に就職し、駅係員として勤務。
地元に戻りたいという気持ちが生まれる中、三陸鉄道の求人を知り帰郷を決意。平成 28 年 4 月から三陸鉄道に勤務。
現在は、三陸鉄道宮古駅で乗車券の発売や売店商品の販売、久慈運行部での構内作業、5 月からは“お座敷列車”の車掌の見習いとして活躍している。

離れて分かった地元の魅力

3 年ぶりに故郷に戻った宇都宮さんは「関東で仕事をしていた頃も月一回は宮古に帰ってきていたので、街の移り変わりは見ていました。新しく建物ができたり、目に見える部分での復興は進んでいると思います。」と、宮古の復興の印象を話すと同時に「東京にも宮古にもそれぞれ良さがあると思います。宮古は生まれ育った街で、離れて分かった良さもあります。震災から 5 年が経ちましたが、震災の傷を負っている人も沢山いらっしゃると思うので、まずは、地元の皆さんに元気になってほしいです。」と、故郷へ想いを寄せます。

宇都宮さんからのひと言：
たくさんの見どころがつまった三陸鉄道に乗りにいらしてください。

期待に応え、自分の夢を追う

宇都宮さんの夢は運転士になること。「運転士になれたら、三鉄では 2 人目の女性運転士になります。周りの皆さんからの期待に応え、夢が叶うよう頑張っていきます。」と、将来の夢を追い続けています。

「土・日・祝日、三陸鉄道北リアス線で運行する“お座敷列車北三陸号”では、アテンダントによる車窓の案内や、車内でお弁当を楽しめる（要予約）など、楽しい列車です。ぜひ乗りにいらしてください。」と宇都宮さん。

夏休みに向けて企画列車の運行も予定されており、沿岸観光の盛り上げにも思いを寄せます。

岩手県の被害状況

平成 28 年 4 月 30 日現在

▶人的被害　死者（直接死）：4,672 人　行方不明者：1,123 人
▶建物被害（住家のみ、全半壊）　26,168 棟

被害状況等の詳細
義援金・寄付金の募集等　いわて防災情報ポータル　検索

皆さんのご支援、ありがとうございます

平成 28 年 4 月 30 日現在

▶義援金受付状況　約 184 億 9,228 万円（93,339 件）
▶寄付金受付状況　約 197 億 7,035 万円（7,742 件）
▶いわての学び希望基金（※）受付状況　約 83 億 8,756 万円（17,722 件）

※ 被災したこどもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより Web】もご覧ください !!　http://iwate-fukkoudayori.com

いわて復興だより　第 106 号　平成 28 年 6 月 1 日号　企画・発行：岩手県復興局復興推進課　☎ 019-629-6945
いわて復興だよりバックナンバーは いわて復興だより 検索
編集・印刷：シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】次回は 6 月 15 日号の発行を予定しています。